

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	平成28年4月1日	終期	令和3年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	環境保全型農業直接支払交付金事業費補助金 地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して、当該営農活動の実施に伴う追加的なコストに対し支援することにより、農業分野の有する環境保全機能を一層発揮させることを目的とする。							
款・項・目	農林水産業費 農業費 農業振興費							
所属等	農林水産部 農業政策課 生産政策係 電話 025-226-1772 (直通)							

年 度		平成30年度(1年目)		令和元年度(2年目)		令和2年度(3年目)	
予算額等の推移	予算(千円)	14,833	国・県 11,125	14,071	国・県 10,553	13,300	国・県 9,975
	決算(千円)	13,027	国・県 9,769	12,738	国・県 9,553	13,300	国・県 9,975
補助率							
目 標		エコファーマー認定数 3,800名 5割減農薬減化学肥料農産物作付面積 7,000ha <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上						
	達成率 80%以上	90.7%	6,346ha	83.4%	5,839ha		
	達成率 50%以上	49.8%	1,893名	49.1%	1,864名	79.5%	5,563ha
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づき達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		事業実施主体のホームページ, 広報誌, 決算書等					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	<input type="radio"/>	e. 指標の推移が維持・向上しているか	<input type="radio"/>
		b. 補助率は1/2以内か	<input type="radio"/>	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	<input type="radio"/>
		c. 補助額が5万円以上になっているか	<input type="radio"/>	g. 目標は数値化されているか	<input type="radio"/>
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	<input type="radio"/>	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	<input type="radio"/>
	×になった項目に対する今後の取組	<a~fにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 5割減農薬・減化学肥料農産物作付面積は、H30年の国の制度変更や市場動向に影響を受け減少している。			
	① 拡充・改善(補助率, 補助額, 補助対象経費, その他) ② 継続 ③ 廃止				
	①~③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 5割減農薬・減化学肥料農産物作付面積、エコファーマー数については、外的な要因が大きく影響し減少しているが、農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性等に積極的に貢献していくことも重要であることから、引き続き事業を継続して支援する。				